

一流パティシエが 障害者に「技伝授」

パティシエを目指す障害者(チャレンジッド)を支援しようと、神戸スウィーツ・コンソーシアムin東京「チャレンジッド・プログラムVol.12」が20日、日清製粉小網町ビル加工技術センター(中央区日本橋小網町)で開かれた。写真。

この日は6回ある講義の初回で、マドレーヌの作り方について実習。授産施設などで働く受講生がオーストリア国家公認「製菓マイスター」の称号を持つ八木淳司講師ら4人のパティシエ

エの指導を受け、お菓子作りに挑んだ。

主催の社会福祉法人プロップ・ステーションの竹中ナミ理事長は「『福祉だから買ってあげよう』というのではなく、本当においしくて商品になる物を提供できるようにしたい」と話している。

